

仮想マシンを使用した

Windows デスクトップ オペレーティング システムのライセンス

2020 年 4 月

この簡易ガイドは、すべてのマイクロソフト ライセンス プログラムに適用されます。

目次

| | |
|---|---|
| 概要..... | 1 |
| 詳細..... | 2 |
| 仮想環境での Windows のライセンス取得方法..... | 2 |
| ユーザー単位の Windows Enterprise E3/E5 サブスクリプションまたは Windows VDA E3/E5 サブスクリプションで、 ユーザーにライセンスを付与..... | 4 |
| Windows の仮想化の権利の比較..... | 5 |
| シナリオ..... | 7 |

概要

このライセンス簡易ガイドでは、仮想マシンで実行する Windows 10 オペレーティング システムのマイクロソフト コマーシャル ライセンスの使用権の概要について紹介します。

ここで取り上げるトピックは以下のライセンスに適用されます。このガイドでは、「Windows デスクトップ オペレーティング システム用のソフトウェア アシュアランス」、「Windows Enterprise E3/E5 サブスクリプション ライセンス」、「Windows Virtual Desktop Access (VDA) サブスクリプション ライセンス」といいます。

- Windows 10 Enterprise E3/E5
- Windows 10 Enterprise per device
- Windows 10 Education E3/E5
- Windows VDA E3/E5
- Windows VDA per device

Licensing Windows for use with virtual machines

(Microsoft 365 F3/E3 ライセンスには Windows 10 Enterprise E3 の利用資格が含まれます。Microsoft 365 E5 ライセンスには Windows 10 Enterprise E5 の利用資格が含まれます)

Windows がプレインストールされた OEM 版で提供される使用権、または他のチャネルを介して購入される使用権については、各製品のライセンス条項を確認してください。

詳細

Windows デスクトップ オペレーティング システム用のソフトウェア アシユアランス、Windows 10 Enterprise E3/E5 サブスクリプション ライセンス、Windows Virtual Desktop Access (VDA) サブスクリプション ライセンスを選択すると、Windows を柔軟に利用できるようになります。これらのプランには、他のライセンス プログラムでは提供されない独自の製品およびライセンスの権利が含まれており、多様なワーク スタイルに対応し、複数のデバイスからさまざまな方法で Windows インスタンスにアクセスできます。

Windows ライセンスを持たない、または対象ではない (シン クライアントなどの) ユーザーまたはデバイスは、Windows VDA サブスクリプションのライセンスを別途取得することで、これらの特典を利用できるようになります。

この簡易ガイドでは、マイクロソフト コマーシャル ライセンスのお客様に提供される Windows の仮想化の権利について概要を紹介します。ここに記載されている内容は、仮想化シナリオを対象とした Windows デスクトップ オペレーティング システムのライセンスにのみ適用されます。Microsoft Office ライセンスやクライアント アクセス ライセンス (CAL) など、特定のシナリオで必要になる可能性があるその他のライセンスには対応していません。

OEM チャネルを通じて取得した Windows デスクトップ オペレーティング システム ソフトウェア ライセンスの場合、Windows の使用権については、ソフトウェアに付属するソフトウェア ライセンス条項に記載されています。これらのライセンス条項では、仮想オペレーティング システム環境 (OSE) 内のライセンスを取得したデバイスで Windows をローカルに実行するための使用権が提供されます。ただし、ライセンスを取得したデバイスから仮想 OSE を実行する Windows にリモートでアクセスするための使用権は提供されず、マイクロソフト コマーシャル ライセンスを通じて取得した Windows デスクトップ オペレーティング システム用のソフトウェア アシユアランス、Windows 10 Enterprise E3/E5 サブスクリプション ライセンス、Windows VDA サブスクリプション ライセンスで提供される仮想化の使用権と比較すると、その他の点で制限されています。たとえば、OEM ライセンスではデータセンターで実行される Windows 仮想マシンへのリモート アクセスは許可されません。

仮想環境での Windows のライセンス取得方法

Windows デスクトップ ソフトウェアを実行するリモートの仮想マシンにライセンス付与およびアクセスするには、次の 3 つの方法があります。

- **Windows の仮想化の権利**

Windows の仮想化の権利は、ライセンスを取得したデバイスまたはユーザーが、その取得方法に応じてリモートまたはローカルで仮想の Windows デスクトップにアクセスできるものです。デバイス単位またはユーザー単位のライセンスを取得し、Windows の仮想化の権利を得るには、次の方法があります。

Licensing Windows for use with virtual machines

- 次のいずれかのプログラムから、デバイス単位で Windows デスクトップ オペレーティング システム用のソフトウェア アシユアランスまたは Windows VDA のサブスクリプションのライセンスを取得する: Open License、Select/Select Plus、マイクロソフト製品/サービス契約、Open Value、Enterprise Agreement、Enrollment for Education Solutions
- 次のいずれかのプログラムから、ユーザー単位で Windows Enterprise E3/E5 サブスクリプションまたは Windows VDA E3/E5 サブスクリプションのライセンスを取得する: Open License、Select/Select Plus、マイクロソフト製品/サービス契約、Open Value、Enterprise Agreement、Enrollment for Education Solutions

お客様は、エンド ユーザーによるリモート アクセスのために、サードパーティを利用して Windows クライアントの仮想マシンをホストすることもできます。これは「ソフトウェア管理のアウトソーシング」と呼ばれ、サードパーティを利用して Desktop as a Service (DaaS) をホストします。サードパーティは認定アウトソーシング企業である必要があり、ホスト環境はお客様専用サーバー上でなければなりません。認定アウトソーシング企業は対象プロバイダーになることはできず、データセンター プロバイダーとして対象プロバイダーを利用することもできません。対象プロバイダーの一覧は <https://aka.ms/ListedProviders> でご確認ください。

注: ソフトウェア管理のアウトソーシングのライセンス条項は、2019 年 10 月 1 日に改定され、このガイドに反映されています。改定前の条項では対象プロバイダーの利用が制限されていませんでした。詳しくは、[製品条項](#)をご確認ください。

注: Windows 10 Enterprise E3/E5 が含まれる Microsoft 365 ライセンスは、対象のオペレーティング システムが搭載されたデバイスのプライマリ ユーザーにのみ適用されます。

- **Windows 10 マルチテナント ホスティングの権利**

お客様は Windows 10 マルチテナント ホスティングの権利の下で、Microsoft Azure やサードパーティの共有サーバー上でリモート アクセス用に Windows クライアントの仮想マシンをホストすることもできます。サードパーティの共有サーバーを利用する場合、その企業は認定マルチテナント ホスティング パートナー (QMTH) である必要があります。認定 QMTH パートナーの一覧は、[こちら \(英語\)](#) でご確認ください。お客様は、Azure AD ベースのライセンス認証によってのみ Windows 10 デスクトップ (Creators Update 以降のバージョンのソフトウェア) を展開できます。Windows 10 マルチテナント ホスティングの権利は、デバイス単位のライセンスでは提供されません。ユーザー単位の Windows Enterprise E3/E5 サブスクリプション ライセンスと Windows VDA E3/E5 サブスクリプション ライセンスのみで提供されます (すべてのプログラムで取得したライセンスが対象)。

注: Windows 10 Enterprise E3/E5 が含まれる Microsoft 365 ライセンスは、対象のオペレーティング システムが搭載されたデバイスのプライマリ ユーザーにのみ適用されます。

- **Azure の Windows Virtual Desktop (WVD)**

WVD は、ライセンスを取得したユーザーに Windows 7 および Windows 10 の仮想マシンへのアクセスを提供する、Azure 上のデスクトップおよびアプリの仮想化サービスです。対象となるユーザー単位のライセンス料金の他に、Azure のコンピューティングとストレージの基本料金がかかります。Windows Enterprise E3/E5 サブスクリプションラ

Licensing Windows for use with virtual machines

ライセンス、Windows VDA E3/E5 サブスクリプション ライセンス、Microsoft 365 スイート ライセンスのいずれかでユーザー単位のライセンスを取得することで、WVD の権利を得ることができます (すべてのプログラムで取得したライセンスが対象)。

注: Microsoft 365 ライセンスはすべてのケースに適用可能です。

ユーザー単位の Windows Enterprise E3/E5 サブスクリプションまたは Windows VDA E3/E5 サブスクリプションで、ユーザーにライセンスを付与

ユーザー単位の Windows 10 Enterprise E3/E5 サブスクリプションまたは Windows VDA E3/E5 サブスクリプションでは、デバイスではなく、ユーザーにライセンスを付与することができます。プライマリ ユーザーのプライマリ デバイスに、Windows デスクトップ オペレーティング システム用のソフトウェア アシユアランス、またはデバイス単位の Windows VDA サブスクリプションが既に適用されている場合、Windows Enterprise E3/E5 Per User アドオンや Windows VDA E3/E5 Per User アドオンを取得できます。これにより、既にお支払いいただいている料金の中で、Windows Per User または Windows VDA Per User ライセンスのすべての特典を利用できます。

ユーザー単位ライセンスの各オプションに関する要件の概要は以下のとおりです:

| | Windows 10 Enterprise E3/E5 per User | Windows VDA per User | Windows 10 Enterprise E3/E5 per User アドオン | |
|---------|--|-------------------------|--|--|
| | | | デバイス単位の Windows 10 Enterprise に追加した場合 | デバイス単位の Windows VDA に追加した場合 |
| ライセンス要件 | プライマリ ユーザーのプライマリ デバイスが Windows 7/8/8.1/10 Pro、Enterprise または Education のライセンスを取得していること | デバイス要件なし。任意のユーザーに割り当て可能 | プライマリ ユーザーのプライマリ デバイスが既に、デバイス単位の Windows 10 Enterprise の対象となっていること | プライマリ ユーザーのプライマリ デバイスが既に Windows VDA の対象となっていること |

Windows ソフトウェア アシユアランス および Windows VDA subscription のオプションに関する詳細情報は、[Windows コマーシャル ライセンス ガイド](#) をご参照ください。

Licensing Windows for use with virtual machines

Windows の仮想化の権利の比較

ライセンス形態 (Windows ソフトウェア アシュアランスまたは Windows VDA サブスクリプション、デバイス単位またはユーザー単位) に応じて、付与される Windows の仮想化の権利にはいくつかの違いがあります。

ライセンス形態による Windows の仮想化の権利の概要を以下の表に示します。

| Windows Enterprise への アクセス権 | ユーザー単位 | | デバイス単位 | |
|---|---|-----------------------------------|-----------------------------|---|
| | Windows 10 Enterprise E3/E5 | Windows VDA E3/E5 サブスクリプション | Windows 10 Enterprise SA | Windows VDA サブスクリプション |
| ローカル インストール | Windows 7/8/8.1/10 Pro、 Enterprise、または Education のライセンス を取得した任意のデバイス、画面サイズ が 10.1 インチ以下の任意の Windows タブレット | | ライセンスを取得 したデバイスのみ | ライセンスを取得したデ バイスのみ (Windows 7/8/8.1/10 Pro、 Enterprise、または Education のライセン スを取得済である事) |
| 仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) または Windows To Go 経由の リモート アクセス | 任意のデバイス (プライマリ ユーザーの要件に従う) | | 任意のライセンスを取得したデバイス | |

Licensing Windows for use with virtual machines

ライセンス形態による Windows の仮想化の権利の詳細を以下の表に示します。

| Windows Enterprise 10 へのアクセス権 | Windows 10 Enterprise SA/E3/E5 | | Windows VDA E3/E5 | |
|---|--------------------------------|--------|-------------------|--------|
| | デバイス単位 | ユーザー単位 | デバイス単位 | ユーザー単位 |
| ライセンスを取得したデバイスの任意のユーザー、またはライセンスを取得したユーザーが使用する任意のデバイスは、お客様専用のデバイスの仮想 OSE で実行されているソフトウェアの最大 4 つのインスタンス、または物理 OSE で実行されているソフトウェアの最大 1 つのインスタンスにリモート アクセスできる。サードパーティの管理下にある専用サーバーには、ソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項が適用される。 | ✔ | ✔ | ✔ | ✔ |
| ライセンスを取得したデバイスのユーザー、またはライセンスを取得したユーザーが使用するデバイスは、仮想 OSE で実行されているソフトウェアの最大 4 つのインスタンス、またはお客様専用デバイス上の物理 OSE で実行されている 1 つのソフトウェア インスタンスにリモート アクセスできる。サードパーティの管理下にある専用サーバーには、ソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項が適用される。ただし、お客様の VDA E3 および E5 のライセンスを取得したユーザーは、対象プロバイダーが提供する専用サーバーを含め、お客様による使用のみを目的としたこれらのリモートの仮想化の権利に基づいて、Windows ソフトウェアにリモート アクセスすることができる。 | | | ✔ | ✔ |
| ライセンスを取得したデバイス上の仮想 OSE で最大 4 つのインスタンス、物理 OSE で最大 1 つのインスタンスをローカル実行できる。Windows VDA (デバイス単位) の場合、このローカル使用権はライセンスを取得したデバイスが Windows 10/8.1 Pro または Enterprise、あるいは Windows 7 Professional または Enterprise のライセンスも取得している場合にのみ適用される。仮想 OSE でローカル実行できるすべてのインスタンスが使用されている場合は、仮想 OSE をホストおよび管理する目的でのみ、物理 OSE のインスタンスを使用できる | ✔ | | ✔ | |

Licensing Windows for use with virtual machines

| | | | | |
|---|--|---|--|---|
| Windows 10/8.1 Pro または Enterprise、あるいは Windows 7 Professional または Enterprise のいずれかのライセンスを取得したデバイス上の仮想 OSE で最大 4 つのインスタンス、物理 OSE で最大 1 つのインスタンスをローカル実行できる。仮想 OSE でローカル実行できるすべてのインスタンスが使用されている場合は、仮想 OSE をホストおよび管理する目的でのみ、物理 OSE のインスタンスを使用することができる | | ☑ | | ☑ |
| 画面サイズの合計が 10.1 インチ以下の Windows デバイスにソフトウェアをインストールできる | | ☑ | | ☑ |
| ライセンスを取得したユーザーは、(ソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項にかかわらず) Microsoft Azure 上の仮想マシンまたは www.microsoft.com/Qualified_Multitenant_Host_Environment_Program に記載された認定マルチテナント ホスティング パートナー (QMTH) の共有サーバーに Windows 10 Creators Update 以降のバージョンのソフトウェアをインストールできる。QMTH がソフトウェアをインストールおよび使用する権利は、QMTH が データセンター プロバイダー として 対象プロバイダー を利用している場合には適用されない。 ライセンスを取得したユーザー は、最大 4 つのソフトウェア インスタンスにアクセスできる。これは Student Use Benefit を通じてソフトウェアにアクセスする学生には適用されない。 | | ☑ | | ☑ |
| ライセンスを取得したユーザーは、Windows Virtual Desktop (WVD) Windows 7 および Windows 10 の仮想マシンにアクセスできる。 | | ☑ | | ☑ |

シナリオ

次のビジネス シナリオでは、お客様専用のサーバー環境で、Windows デスクトップ オペレーティング システムのライセンスを取得する方法を紹介しています。専用**サーバー**がサードパーティの管理下にある場合、ソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項が適用されます。ソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項にかかわらず、お客様の Windows VDA E3 および E5 のライセンスを取得したユーザーは、これらのリモートの仮想化の権利に基づいて、お客様による使用のみを目的とした、**対象プロバイダーのサーバー**上で、Windows ソフトウェアにリモート アクセスすることができます。

Licensing Windows for use with virtual machines

注:これらの例は、Windows ソフトウェア アシユアランスおよび Windows VDA サブスクリプションのお客様を対象としたものです。シナリオに必要なライセンスが必ずしもすべて記載されているわけではありません。たとえば、VDI/Windows Server 上のセッション デスクトップまたはアプリケーション (使用する場合) にリモート アクセスするユーザーまたはデバイスにも、対応するアクセス ライセンス (Windows Server CAL、RDS CAL など) を取得する必要があります。シナリオによっては、Microsoft Office Professional Plus ライセンスも必要になる場合があります。簡略化のため、これらの個別のライセンス要件をすべて記載しているわけではありません。

| シナリオ | 説明 | ライセンス ソリューション |
|---|---|---|
| Virtual Desktop インフラストラクチャ デスクトップ | Windows デスクトップ オペレーティング システムは、データセンター、お客様専用のサーバー上、ハイパーバイザー プラットフォーム上 (Hyper-V テクノロジなど) の仮想マシンで実行されます。これらの仮想デスクトップには、PC、シンクライアント、その他のデバイスからアクセスします。 | 仮想マシンで実行される Windows デスクトップ オペレーティング システムにアクセスするため、デバイスまたはユーザーは有効な Windows ソフトウェア アシユアランス、Windows VDA サブスクリプション、対象プログラムを通じて取得した Windows E3/E5 ライセンスのいずれかが必要になります (前述)。 |
| リモート デスクトップ セッション ホスト/ターミナル サービス セッション 仮想化 “デスクトップ” | Windows Server オペレーティング システム (Windows Server 2019 など) は、Microsoft Office Professional Plus 2019 のようなアプリケーションを実行しているリモート デスクトップ セッション ホストを介して複数のユーザー間で共有されます。これらのセッションには、PC、シンクライアント、またはその他のデバイスからアクセスします。 | デバイスは Windows Server オペレーティング システムのみにアクセスするため、Windows デスクトップ オペレーティング システムの追加ライセンスは必要ありません。ただし、デバイス/ユーザーは、セッション テクノロジのライセンス (Windows Server CAL、Remote Desktop Services [RDS] CAL など) を取得する必要があります。セッションにアクセスするデバイスには、Office Professional Plus のライセンスも必要です。 |
| VDI と セッション デスクトップの組み合わせ | VDI デスクトップにアクセスするユーザーもいれば、セッション ベースのデスクトップまたはアプリケーションにアクセスするユーザーもいます。場合によっては、特定のデバイスが両方に同時にアクセスする必要があることもあります (たとえば、ユーザーが VDI デスクトップにログインし、セッション経由でリモート アプリケーションまたはデスクトップにアクセスする場合など)。 | Windows クライアントと Windows Server セッションにアクセスするユーザーまたはデバイスは、対象の Windows 10 ライセンスと Windows Server アクセス ライセンス (Windows Server CAL と RDS CAL) の両方が必要です。 |
| ローミング VDI ユーザー | ユーザーのプライマリ デバイスは VDI のライセンスを取得している業務用シンクライアントです。またユーザーは、自宅や外出先から個人のタブレット デバイスを使用して、VDI デスクトップに柔軟にアクセスできる必要もあります。 | Windows VDA Per User ライセンスでは、ユーザーが任意のデバイスからデータセンターで実行されている最大 4 つの仮想マシンに同時にアクセスできます。 |

Licensing Windows for use with virtual machines

| シナリオ | 説明 | ライセンス ソリューション |
|---|---|---|
| 個人所有の コンパニオン デバイスの業務利用 (BYOCD) | 会社は、Windows 用ソフトウェア アシユアランス、または Windows VDA サブスクリプションの対象となる主要な作業用デバイスを従業員に提供します。また、従業員が個人所有のコンパニオン デバイス (タブレットなど) を業務に利用したり、会社の VDI にそれらのデバイスからアクセスしたりできるようにしたいと考えています。 | 主要な作業用デバイスは Windows 用ソフトウェア アシユアランスまたは Windows VDA サブスクリプション ライセンスを取得しているため、会社はユーザーが業務中に任意のデバイスから会社の VDI にアクセスが許可される、ユーザー向けの Windows Software Assurance per User Add-on の取得が可能です。 |
| 個人所有デバイスの業務利用 (BYOD) | 会社は、ユーザーが個人所有のデバイスを業務に利用できるようにすることを決定し、すべてのユーザーに対して VDI デスクトップをセットアップします。デバイスには対象オペレーティング システムが含まれていません (たとえば、Windows 7 Home Premium のライセンスを取得している場合があります)。これらのユーザーは、その他のデバイスにはアクセスできません。 | Windows VDA per User ライセンスにより、任意のデバイスから VDI デスクトップにアクセスできます。 |
| 契約社員の PC | 組織 A は、一部の業務について組織 B と契約し、組織 B の従業員が組織 A の VDI デスクトップに組織 B の PC からアクセスできるようにします。デバイスには対象オペレーティング システムが含まれています (Windows 10 Pro など)。 | 組織 B の従業員が組織 A の VDI デスクトップにアクセスするデバイス ライセンスは、組織 A がソフトウェア アシユアランス付きの Windows Enterprise Per Device、または Windows VDA Per Device サブスクリプション ライセンスで取得する必要があります。もしくは、ユーザー単位の Windows Enterprise E3/E5 サブスクリプションまたは Windows VDA E3/E5 サブスクリプションでユーザーのライセンスを取得します。 |
| ローカルの Windows 仮想マシン | 組織には、Windows 10 Pro を実行している PC 上のローカル仮想マシンで実行されている複数の Windows イメージでアプリケーションをテストする必要がある開発者のグループがあります。 | PC または PC のプライマリ ユーザーは、最大 4 つの仮想マシンを同時に実行できる、有効なソフトウェア アシユアランス付きの Windows 10 Enterprise または Windows 10 Enterprise E3/E5 サブスクリプションが必要です。 |

© 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.

本資料に記載された内容は情報提供のみを目的としており、明示または黙示に関わらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。これは、ライセンスを取得した製品の許可された使用について説明したものであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づいてライセンス許諾された製品の使用は、契約の条項および条件に従う必要があります。この情報と契約の内容に矛盾がある場合は、契約の条項と条件が優先されます。マイクロソフト代理店を通じて取得されるライセンス価格はマイクロソフト代理店によって決められるものです。